

平成 22 年度京都市立学校教員採用選考試験実施要項

京都市教育委員会

【申込受付期間】（8頁，9頁に出願手続きを掲載しています）

郵送による受付期間 平成 21 年 5 月 11 日（月）～平成 21 年 6 月 11 日（木）

（上記期間の消印のあるものに限りません。）

インターネット受付期間 平成 21 年 5 月 11 日（月）～平成 21 年 6 月 8 日（月）

（8日（月）は午後 5 時受信分まで）

第 1 次試験（面接試験） 平成 21 年 7 月 18 日（土）～21 日（火）のうち指定する日

（筆記試験） 平成 21 年 7 月 26 日（日）

（ただし，志願者多数の場合は面接日が上記以外の日となることがあります。）

第 2 次試験 平成 21 年 8 月 22 日（土）～23 日（日）

平成 22 年度京都市立小学校（幼稚園を含む）・中学校・高等学校・総合支援学校（ ）及び養護教員の教員採用選考試験を次のように行います。

本要項における「総合支援学校」とは「学校教育法上の特別支援学校に該当する学校」を指す。

1 出願の区分及び教科並びに採用予定数

(1) 一般選考

出願区分	採用予定教科	採用予定数
小学校教諭 （幼稚園を含む）		150名程度 （うち幼稚園若干名）
中学校教諭	国語・社会・数学・理科・音楽・美術・ 保健体育・技術・家庭・英語	80名程度
高等学校教諭	普通教科...国語・数学・英語	10名以内
総合支援学校教諭		15名程度
養護教員		10名以内

(注) ～ の出願区分については，それぞれの出願区分（ ， は教科の区分， は特別支援学校の普通免許状に加えて または の出願区分）に相当する普通免許状を現に有する方，又は平成 22 年 4 月 1 日までに取得見込みの方は，該当する出願区分のうち，1 校種または 2 校種までの併願が可能です。

中学校数学と中学校理科，高等学校数学と中学校英語のように異なる教科の併願はできません。
併願を希望する場合は必ず 13 頁を参照してください。

(2) 国際貢献活動経験者特別選考

出願区分	採用予定数
小学校・総合支援学校並びに中学校・高等学校教諭の試験を実施する教科・養護教員	5名以内

(注 1) 第 1 次試験において，一般選考における一般・教職教養筆記試験に替えて，論文試験を実施します。

(注 2) 4 頁記載の 4 (1) ア，(2) ア，(3)，(5) については適用されません。

- * 本選考試験は，日本国籍を有しない方も受験できます。ただし，採用の際には任用の期限を付さない常勤講師となります。
- * 身体等の事情により，受験に際して特に配慮を必要とする方は，志願書に記入のうえ，事前に教職員人事課までご相談ください。

- (注1) 志願書提出後の選考区分・出願区分・教科の区分の変更は認めません。
- (注2) 高等学校教諭については前頁の採用予定教科のみ募集し、その他の教科は募集しません。なお、中学校の保健体育の合格者については、採用時に高等学校に配置する場合があります。
- (注3) 総合支援学校以外の校種の合格者であっても、採用時に総合支援学校に配置する場合があります。
- (注4) 総合支援学校の合格者は総合支援学校(小学部・中学部・高等部のいずれか)に配置します。
- (注5) 採用予定教科・分野であっても、選考の結果、採用者がいない場合があります。

2 受験資格

(1) 一般選考

次のア～ウの全てに該当する方

ア 年 齢

出願区分に応じた下表の生年月日に該当する方

出願区分	22.4.1 現在の年齢	生年月日
小学校教諭(幼稚園を含む)	48歳未満	昭和37年4月2日以降
中学校・高等学校・総合支援学校教諭	45歳未満	昭和40年4月2日以降
養護教員	35歳未満	昭和50年4月2日以降

(注) ただし、次の方は上表の生年月日を昭和35年4月2日以降とします。

国公立学校の正規教諭、養護教員、任用の期限を付さない常勤講師(日本国籍を有しない方)として平成22年3月31日現在で在職(以下、「現職教員」という)し、かつ、勤務歴が連続して1年以上(休職期間を除く)ある方

平成22年3月31日現在で、国公立学校の常勤講師(臨時的任用職員)の勤務歴が通算10年以上ある方(休職期間を除き、現職教員の期間も含む。3月31日のみ任用が切れている年度は1年とみなす)

イ 出願する校種及び教科又は職に相当する普通免許状を有する方、又は平成22年4月1日までに取得見込みの方

(注1) 総合支援学校を希望する場合は特別支援学校の普通免許状とともに、小学校または中学校の普通免許状を有するか、平成22年4月1日までに取得見込みであることが必要です。

なお、特別支援学校の普通免許状については、視覚・聴覚・知的・肢体不自由・病弱の5領域のうち、いずれかの領域の免許状を有していること(または平成22年4月1日までに取得見込みであること)が必要です。また、盲学校、聾学校、養護学校の普通免許状を有している方については、上記の特別支援学校の普通免許状を有しているものとみなします。

(注2) 幼稚園教諭を希望する場合は、幼稚園の普通免許状とともに小学校の普通免許状を有するか、平成22年4月1日までに取得見込みであることが必要です。

ウ 地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格条項に該当しない方

(2) 国際貢献活動経験者特別選考

次のア、イのいずれにも該当する方

ア 独立行政法人国際協力機構法(平成14年12月6日法律第136号)の規定に基づく青年海外協力隊又は日系社会青年ボランティアとしての派遣実績(廃止前の国際協力事業団法の規定に基づく派遣を含む)を有する方

イ (1)の一般選考の要件をすべて満たしている方

中学校の数学・理科，高等学校の数学志願者の特例

中学校の数学・理科，高等学校の数学については，前頁（１）～（２）のいずれの選考においても当該校種及び教科の普通免許状を有しない方及び取得見込みのない方も受験できます。（但し，短期大学士の学位又は準学士の称号以上の資格を有する方に限る。）

合格者については，京都府教育委員会に推薦し，京都府の教育職員検定に合格して特別免許状が授与された場合は，教諭として正式採用します。特別免許状が授与されない場合は，合格した校種・教科の臨時免許状の取得を条件として，臨時的任用の常勤講師として任用し，平成 27 年 4 月 1 日までに普通免許状を取得すれば，教諭として正式採用します。

4 頁の「4 第 1 次試験一部免除等の特例について」の（５）及び（６）に該当する方については，上記特例は該当しません。

特別免許状について

1 制度の趣旨

大学での養成教育を受けていない者に，都道府県教育委員会の行う教育職員検定により免許状を授与する制度

2 授与要件

次の ， のいずれにも該当する者

担当する教科に関する専門的な知識経験又は技能を有する者

社会的信望があり，かつ，教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者

3 大学・大学院推薦制度による選考

（詳細については京都市教育委員会教職員人事課HP掲載の実施要項をご覧ください。）

学業成績優秀であるとともに，部活動やボランティア活動等の実績が顕著であるなど，大学・大学院における諸活動の実績を評価され，教師として優れた実践力を発揮することが期待できると学長等（学部長以上の職）からの推薦を受けた方（平成 22 年 3 月卒業予定者等）は，書類選考のうえ，合格者については第 1 次試験を免除します。

ア 年 齢

一般選考と同様

イ 募集校種・教科

小学校，中学校（数学・理科・技術），高等学校（数学），総合支援学校

ウ 試験内容

第 2 次試験に加え，別途個人面接を実施します。

4 第1次試験一部免除等の特例について

以下のいずれかに該当する方は、希望により第1次試験の一部又は全部を免除、あるいは他の試験に替えて実施します。ただし、併用することはできません。

- (1) 英語資格所有者（有効期限は設けていません。今までに一度でも要件を満たせば該当します。）
- ア 小学校志願者で、実用英語技能検定（（財）日本英語検定協会）準1級以上、TOEFL 550点以上（TOEFL テスト ITP を含む、CBT の場合は 213 点以上）、TOEIC 730 点以上（TOEIC IP テストを含む）のいずれかの資格を有する方は、一般・教職教養筆記試験を免除し、英語実技試験（Listening）を実施します。
- イ 中学校・高等学校の英語志願者で、実用英語技能検定1級、TOEFL 580 点以上（TOEFL テスト ITP を含む、CBT の場合は 237 点以上）、TOEIC 860 点以上（TOEIC IP テストを含む）のいずれかの資格を有する方は、英語の専門筆記試験を免除します。
- (2) 現職教員（臨時的任用職員である常勤講師は含みません。）
- ア 平成 22 年 3 月 31 日現在で在職し、かつ、勤務歴が連続して 1 年以上ある方は、出願区分に関わらず、一般・教職教養筆記試験を免除します。
- イ 平成 22 年 3 月 31 日現在で在職し、かつ、勤務歴が連続して 3 年以上ある方が、現在勤務する校種（養護教員にあっては職種）及び担当教科と同一の受験区分を専願で志願する場合に限り（現在中学校又は高等学校に勤務されている方で、中学校と高等学校の同一教科の免許状を有する場合は、現在勤務する校種と同一でなくてもよい。ただし、小学校を除く。）、第1次試験を免除し、第2次試験に加え、別途個人面接を実施します。
- (3) 常勤講師（臨時的任用職員）
- 平成 22 年 3 月 31 日現在で、勤務歴が通算 3 年以上ある方（現職教員の期間も含む。3 月 31 日のみ任用が切れている年度は 1 年とみなす。）は、出願区分に関わらず、一般・教職教養筆記試験を免除します。
- (4) 平成 21 年度試験（20 年度実施試験）第 1 次試験合格者
- 平成 21 年度京都市立学校教員採用選考試験の第 1 次試験合格者（第 2 次試験受験辞退者及び内定辞退者を除く）は、平成 21 年度教員採用選考試験の合格区分と同一の受験区分のみを受験する場合に限り、第 1 次試験を免除します。
- (5) 社会人経験者チャレンジ制度
- 平成 21 年 3 月 31 日現在、同一の法人格を有する民間企業又は官公庁等で正社員又は正規職員として、3 年以上の勤務実績がある方（出願時において在職していなくても構いません。）は、出願区分に関わらず、一般・教職教養筆記試験に替えて、論文試験を実施します。
- (6) 博士号取得者（中学校の数学・理科、高等学校の数学志願者のみ）
- 平成 21 年 3 月 31 日現在、博士号を取得している方は、第 1 次試験を免除し、第 2 次試験に加え、別途個人面接を実施します。

4 第 1 次試験一部免除等の特例（1）～（6）の中で、第 1 次試験免除の場合でも、必ず受付期間内に出願手続を行ってください。

5 選考試験の内容

試験会場：京都市立西京高等学校・京都市立西京高等学校附属中学校（詳細は12頁を参照）

		小学校	中学校	高等学校	総合支援学校	養護教員	
第1次試験	7月18日(土) ～21日(火)	個人面接	個人面接 実技試験 <保健体育 (体育実技)>	個人面接	個人面接	個人面接	
	7月26日(日)	一般選考・・・一般・教職教養筆記試験 30分 (社会人経験者チャレンジ制度該当者・・・論文試験 30分) 国際貢献活動経験者特別選考・・・論文試験 30分					
		専門筆記試験 50分	専門筆記試験 50分	専門筆記試験 90分	専門筆記試験 50分	専門筆記試験 50分	
第2次試験	8月22日(土) ～23日(日)	論文, 適性検査, 集団面接, 模擬授業(指導案作成を含む。) (高等学校については, 指導案作成を通して教科の専門性を問います。) (幼稚園受験者は模擬授業の代わりにピアノを使用した模擬保育を実施します。)					
		実技試験 <体育実技>	実技試験 <英語・音楽・美術>	実技試験 <英語>			

(注1) 7月21日(火)については, 中学校保健体育志願者のみ実施します。

(注2) 大学・大学院推薦制度, 現職教員及び博士号取得者特例(4頁4(2)イ, (6))該当者の個人面接については, 第1次試験の日程のいずれかの日に実施します。

(注3) 個人面接の冒頭に, 志願時に提出する「子どもたちに伝えたい私の感動体験」の内容を, 教室で子どもたちが目の前にいると想定して語りかける場を2分間設けます。詳細は試験当日に指示します。
なお, 中学校・高等学校の英語志願者の方でも日本語にて実施していただきます。

(注4) 上記の試験のうち, いずれか一つでも受験されない場合は, その時点で受験を辞退したものとみなし, 平成22年度京都市立学校教員採用選考試験の受験資格を失うものとする。
(小学校及び中学校保健体育の体育実技試験については, 身体等の事情により試験を欠席することを認める場合があります)

第1次試験の留意事項（試験日，試験会場，集合時刻，及び持参品は受験票に記載します。）

個人面接

第1次試験の個人面接の冒頭に，志願時に提出する「子どもたちに伝えたい私の感動体験」の内容を，教室で子どもたちが目の前にいると想定して語りかける場を2分間設けます。詳細は試験当日に指示します。中学校・高等学校の英語志願者の方でも日本語にて実施していただきます。

専門筆記試験

- ア 併願希望者は，志願するすべての出願区分（中学校・高等学校は教科）についての専門筆記試験を受験してください。
- イ 小学校志願者で，幼稚園の普通免許状を所有している方，又は平成22年4月1日までに取得見込みの方のうち，幼稚園教諭も含めて志願する場合は，幼稚園専門筆記試験（30分）を併せて行いますので，必ず受験してください。
- ウ 中学校と高等学校を併願する場合，専門筆記試験の試験時間は90分となります。

実技試験

下記の受験者については，次のとおり実技試験を実施します。

中学校の保健体育受験者

内 容	持 参 品
・ハードル走 ・バレーボール ・マット運動（空中回転技は実施しません）	運動のできる服装，運動靴（屋内及び屋外用），昼食

雨天等によるグラウンドの状況によって，内容を変更することがあります。

その際の内容は当日指示します。

小学校の体育実技試験は第2次試験において実施します

第2次試験の留意事項

次の方を対象に第2次試験を実施します。

- ア 第1次試験の結果により第2次試験の受験資格を得た方
- イ 平成21年度試験（20年度実施試験）第1次試験合格者
- ウ 大学・大学院推薦制度，現職教員及び博士号取得者特例（4頁 4（2）イ，（6））該当により第1次試験免除となった方

実技試験

下記の受験者については，次のとおり実技試験を実施します。

小学校受験者

内 容	持 参 品
・とび箱 ・マット運動（空中回転技は実施しません。）	運動のできる服装，運動靴（屋内用） 昼食

実技試験については，他に中学校英語・音楽・美術，高等学校英語においても実施します。詳細（試験日，試験内容，集合時刻，及び持参品等）については第1次試験結果通知書等により直接本人に通知します。

6 試験の結果と採用までの経過

(1) 第1次試験の結果発表

ア 平成21年8月中旬までに、受験者全員に結果を通知します。試験結果の通知は、**A**と**B**に区分してあり、**A**は第2次試験の受験資格を得たこと、**B**は受験資格がないことを意味します。

また、結果は受験番号により京都市役所公用掲示場に掲示するとともに、ホームページでも発表します。

イ 第1次試験において不合格となった方のうち、希望者には5段階の区分で結果を通知します。

(2) 試験結果の通知

ア 平成21年9月下旬に、第2次試験受験者全員に合否結果を通知します。結果については受験番号により京都市役所公用掲示場に掲示するとともに、ホームページでも発表します。

イ 第2次試験において不合格になった方のうち、希望者には3段階の区分で結果を通知します。

(3) 内定時期等について

合格者については、平成21年9月下旬に内定し、平成22年4月1日付けで京都市立学校教員として採用されることとなります。

(4) 第1次試験合格者の取扱いについて

本試験の第1次試験合格者については、平成23年度の本市教員採用選考試験(平成22年度実施)で、22年度教員採用選考試験の合格区分と同一の受験区分のみを受験する場合に限り、第1次試験の受験を免除します。ただし、本試験の第2次試験の受験を辞退した方及び内定を辞退した方は対象となりません。

(5) 大学院進学者及び国際貢献活動派遣者への特例

第2次試験合格者が、合格した校種・教科又は職の専修免許状取得を目指して、大学院へ進学する場合は、2年間(特に必要がある場合は3年間に限り)採用を猶予し、第2次試験で合格した校種・教科又は職の専修免許状の取得を条件として、平成24年4月1日付け又は平成25年4月1日付けで京都市立学校教員として採用します。

また、第2次試験合格者が独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊又は日系社会青年ボランティアの活動に従事する場合は、最大2年間採用を猶予し、平成23年4月1日付け又は平成24年4月1日付けで京都市立学校教員として採用します。

7 その他

(1) 初任給(平成21年4月1日現在、小・中学校教諭の例)

修士課程修了者	：	約 255,100 円
大学卒業生	：	約 233,600 円
短期大学卒業生	：	約 207,200 円

上記の金額は、給料、教職調整額、地域手当、義務教育等教員特別手当を含みます。

このほか、期末・勤勉手当(年間約4.5月分)、通勤手当、扶養手当、住居手当等が所定の条件に応じて支給されます。

採用前に職歴等を有する場合は、その内容・期間に応じて初任給が決定されます。

(2) 試験会場及び周辺への自動車・バイク・自転車の駐車・駐輪は禁止します。また、試験会場の敷地内はすべて禁煙とし、携帯電話の使用も一切禁止します。

(3) インターネットで毎日の志願状況、試験結果等の情報を下記のアドレスで提供しています。

http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/soshiki/29-1-3-0-0_1.html

インターネットに接続できる携帯電話、端末による情報の提供も下記のアドレスで行っています。

<http://www.edu.city.kyoto.jp/kyoshokuin/m/>

8 出願手続

(1) 提出書類

(ア～エは必ず全員が提出してください。アの志願書と、イの子どもたちに伝えたい私の感動体験は、キリトリ線に沿って切り離して提出してください。オ～クについては、該当者のみ提出してください。
出願前に、実施要項15頁に記載の「提出書類チェック欄」で必ずチェックをしてください。)

ア	所定の志願書 A・B	1 通
イ	「子どもたちに伝えたい私の感動体験」(様式別添)	1 通
ウ	官製はがき【受験票として使用するので、裏面が白紙のもの】 (表面に志願者の郵便番号・住所・氏名を明記すること)	1 通
エ	返信用封筒(角形2号 24cm×33.2cm)【結果通知に使用】 (表面に120円切手を貼付のうえ、志願者の郵便番号・住所・氏名を明記すること)	1 通
オ	平成21年度京都市立学校教員採用選考試験(平成20年度実施) 第1次試験合格通知書の写し	1 通
	(平成21年度京都市立学校教員採用選考試験の第1次試験合格者 (第2次試験受験辞退者及び内定辞退者を除く)のみ提出してください。)	
カ	英語資格について各実施団体が発行する証明書の写し	1 通
	(第1次試験一部免除等の特例(1)の、英語資格所有者の特例を希望する方 英語資格について各実施団体が発行する証明書の写し)	
キ	派遣証明書	1 通
	(国際貢献活動経験者特別選考での受験を希望する方 独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局による定形書式)	
ク	学位授与証明書	1 通
	(第1次試験一部免除等の特例(6)の、博士号取得者の特例を希望する方)	

(2) 受付期間及び提出方法

郵送による申込み

ア 受付期間

平成21年5月11日(月)～平成21年6月11日(木)

上記期間の消印のあるものに限り郵送で受け付けます。

提出の際は、角形2号の封筒を使用すること(志願書は折り曲げ厳禁)

封筒の表に「志願書在中、中学校・英語」のように出願区分(教科)を朱書きしてください。
なお、併願する場合は、第1希望の出願区分(教科)とともに「併願」と朱書きし、併願する校種・教科も同様に記入してください。国際貢献活動経験者特別選考で志願する場合は、「特別選考」と朱書きしてください。

< 郵送先 >

〒604-8571 (住所記入不要)

京都市教育委員会事務局 教職員人事課

(注1) 提出された書類は、一切返却しません。郵送の際、切手は過不足なく貼付してください。

(注2) 志願書は折り曲げ厳禁です。提出書類は角形2号の封筒を使用してください。

イ 受験票の交付

受験票は、志願書受付期間終了後に郵送します。平成21年7月13日(月)までに到着しない場合は、教職員人事課に照会して受験番号等の内容を確認してください。

インターネットによる申込み

<p>申込方法</p>	<p>京都市教育委員会ホームページ (http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/soshiki/29-1-3-0-0_1.html) から、 「インターネット申込み」にアクセスして、詳しい手続きを確認してから申し込んでください。</p>
<p>受付期間</p>	<p>インターネット受付期間は、 平成 21 年 5 月 11 日 (月) ~ 平成 21 年 6 月 8 日 (月) (ただし、8 日 (月) は午後 5 時までの受信分に限りませ)</p>
<p>受験票の交付</p>	<p>インターネットによる申込みについては、一定期間経過後、受験票がダウンロード可能となったことを通知する電子メールを送付します。そのメールが 7 月 8 日 (水) までに届かない場合には、京都市教育委員会教職員人事課へ照会してください。(電話 : 075-222-3781)</p> <p>上記メールが到着した後、受験票等をダウンロードして、プリントアウトし、 「署名票」に署名をしたうえで、個人面接実施日に (21 年度第 1 次試験合格者は別途指示する日)、必ず「8 頁 (1) エの返信用封筒 (表面に 120 円切手を貼付のうえ、志願者の郵便番号・住所・氏名を明記) 」と「受験票」とともに持参して下さい。</p> <p>さらに、以下に記す特例該当者等については、1 ~ 3 に記載のとおり、提出書類を持参して下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「第 1 次試験一部免除等の特例について」の (1) <u>英語資格所有者に該当する方及び国際貢献活動経験者特別選考枠での受験者</u>については、第 1 次試験の個人面接実施日に「8 (1) 提出書類のカ又はキ」を必ず持参して下さい。 2 「第 1 次試験一部免除等の特例について」の (6) <u>博士号取得者に該当する方</u>については、第 2 次試験の個人面接実施日に「8 (1) 提出書類のク」を必ず持参して下さい。 3 平成 21 年度試験 (20 年度実施試験) 第 1 次試験合格者については、別途指示する日に「8 (1) 提出書類のオ」を必ず持参して下さい。

志願書記入上の注意

志願書等には、必要な事項を正確に記入してください。万一、虚偽の記載があったと認められる場合は、この試験で得た資格をすべて無効とすることがあります。なお、記載事項について特に必要がある場合には、後日、事実調査を行うことがあります。

1 志願書 A 【黒インク又は黒ボールペンで、楷書で丁寧に記入してください。】

- (1) 写真の裏に氏名・出願区分を記入してください。
- (2) 「選考区分」のいずれかに☑をし、国際貢献活動経験者特別選考で志願する場合は、青年海外協力隊又は日系社会青年ボランティアとして活動した派遣国名及び派遣期間を記入してください。
- (3) 大学・大学院推薦制度によって受験する場合は、推薦欄に☑をしてください。
- (4) 「出願区分」の最上欄は必ず記入してください。なお、併願を希望する場合は、希望する順に最上欄に記入した校種以外の校種を、「併願 1」以下の欄に記入してください。
- (5) 中学校及び高等学校志願者は、「出願区分」の「教科」欄に、教科名を記入してください。
- (6) 幼稚園専門筆記試験の受験を希望する場合は、「出願区分」の欄に「小学校」と記入し、その下の「併願 1」欄に「幼稚園」と記入してください。
「幼稚園」の記入がない場合は、幼稚園専門筆記試験の受験はできません。
- (7) 第 1 次試験一部免除等の特例を希望する場合は、必ず該当する項目に☑をしてください。ただし、併用はできません。

ア．英語資格所有者は、() 内に実用英語技能検定、TOEFL (TOEFL テスト ITP 含む) ， TOEIC (TOEIC IP テスト含む) のいずれかを明記し、級・点数を記入してください。
記入がない場合、また、資格を証明する各実施団体から発行される証明書の写しがない場合は、この特例を受けられません。

イ．国公立学校現職教員は、さらに 1 年以上の区分か 3 年以上の区分に☑をしてください。

ウ．博士号取得者は、() 内に専攻名 (工学や経営学など) を記入して下さい。
学位授与証明書がない場合は、この特例を受けられません。

- (8) 講師募集等の案内メールを希望する場合は、e メールアドレスを記入し、☑をして下さい。
- (9) 「最終学歴」欄に記入する学校名は、最も上位の学歴を取得した学校名を記入して下さい。
(例) ・ A 短期大学卒業後、B 大学へ進学し卒業 (見込) の場合 B 大学の学校名を記入
・ A 大学卒業後、B 大学院へ進学し卒業 (見込) の場合 B 大学院の学校名を記入
・ A 大学卒業後、B 大学へ進学し卒業 (見込) の場合 A 大学の学校名を記入
(この場合、B 大学は下の「学歴」欄に記入して下さい。)
- (10) 大学等卒業後に通信教育・聴講・科目等履修などの期間がある場合は、「最終学歴」欄右の「通信・聴講等」欄に記入してください。
- (11) 「免許・資格」欄に教員免許状及び司書教諭資格以外の免許・資格等を記入してください。
特に英語に関する資格 (実用英語技能検定や TOEFL, TOEIC 等) を有している場合は必ず記入してください。また、京都検定や数学検定などの資格を有している場合についても記入してください。
- (12) 高等学校数学の志願者で「情報」免許を有する方又は取得見込みの方は免許状欄に記入してください。

- (13) 「免許状」欄に所有又は取得見込の教員免許状の種別，教科，取得（見込み）年月日を記入してください。教員免許状を取得見込みの方は「免許状」欄の（ ）内に，下記の教員免許状取得コードのうち，該当する番号を記入してください。

教 員 免 許 状 取 得 コ ー ド
（どの方法で教員免許状を取得しようとしているのかを表します。）

取得コード	最終学校で取得	1
	最終学校以外の通学制の学校で取得	2
	通信教育で取得	3
	認定試験，検定で取得	4
	その他の方法で取得	5

平成21年4月1日から「教員免許更新制」が導入されています。平成21年3月31日以前に免許状（旧免許状）を取得された方は再度，自身の修了確認期限等について各自で確認しておいてください。（詳しくは文部科学省のホームページを参照してください）

- (14) 第1次試験，第2次試験を不合格となった際に結果通知を希望される場合は「不合格の際の第1次試験の5段階通知・第2次試験の3段階通知」欄に☑をしてください。（希望しない場合でも，切手を貼付し，宛名を記入した返信用封筒を必ず提出してください。）

2 志願書 B 【黒インク又は黒ボールペンで，楷書で丁寧に記入してください。】

- (1) 「職歴」の欄には，出願時現在を含め，新しいものから順に書ける分のみ正確に記入してください（職歴欄に書ききれない古い職歴は不要です）。ただし，受験資格や第1次試験一部免除等に関わる職歴はきちんと記入して下さい。

教員歴については，本市以外のものも記入し，学校名，校種の別，教諭・講師（正規・臨時）の別まで記入してください。総合支援学校の場合は，小学部，中学部，高等部の別等も記入してください。なお，任用期間が引き続いている場合は，まとめて記入して下さい。京都府下で週あたり28時間勤務（21年度からは27時間勤務）の非常勤講師をされている方については，当該年度はまとめて記入していただいて構いません。

（例）「まなび教育推進プラン」による小学校1年生の非常勤講師の場合
... 「 20・4・6 ~ 21・3・24 」と記入

- (2) 「水泳」の欄について，小学校及び中学校保健体育並びに総合支援学校受験者（いずれも併願者含む）は，25m以上泳げるか，泳げないかのいずれかに☑をしてください。
- (3) 「部活動など」における校種欄の「その他」は，スポーツ少年団やボーイスカウト，ガールスカウト，地域の子ども会，少年補導委員会，体育振興会等での活動など，学校以外のスポーツ団体・文化団体などでの活動歴があれば記入してください。
- (4) 「部活動歴・自己研鑽歴」の欄には，部活動・同好会での活動歴や，主な実績（大会への参加・入選・入賞等の記録）について要点のみを記入してください。
また，京都市教育委員会が実施する京都教師塾をはじめ，教員としての資質向上のために取り組んでいる自己研鑽等の内容を記入してください。（京都教師塾の塾生は，所属する又は所属していたコース名及び第 期生と入塾期を記入してください。）
- (5) 「ボランティア活動等」の欄には所属した団体や活動時期・内容等を具体的に記入してください。なお，「学生ボランティア」学校サポート事業など，京都市教育委員会が実施している事業での活動経験がある場合は必ず記入してください。（教員免許取得のための介護等体験実習は除きます。）

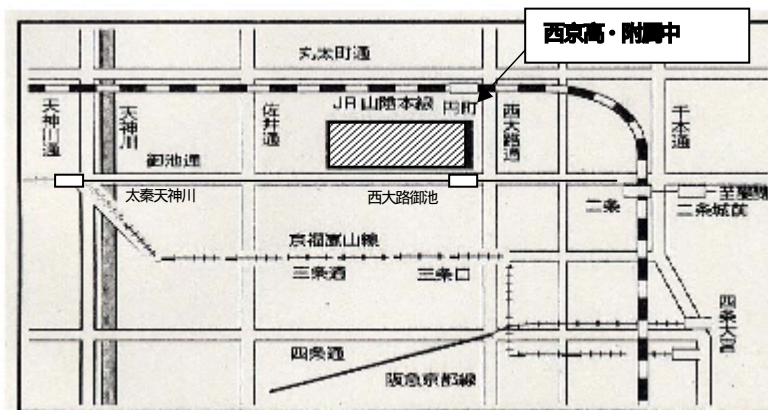
- (6) 「自己アピール」欄は必ず記入してください。
- (7) 現職教員の特例を希望する人は、平成 21 年 4 月 1 日現在、在籍する学校の所在する都道府県(政令指定都市の場合は政令指定都市)・校種・担当する教科を記入してください。(中高一貫校等の場合は、平成 21 年 4 月 1 日現在に在籍する校種を記入してください。)
- 3 子どもたちに伝えたい私の感動体験
 内容は自由ですが、別添の様式に収まる範囲で記入してください。(両面使用可、パソコン使用可)
 (注1) 写真や工作物の貼り付けはできません。
 (注2) 直接、写真を貼ることはできませんが、写真を貼ったものをコピーしたものやパソコンで画像データを貼り付けて印刷したものなどを提出することは差し支えありません。
 (注3) 中学校や高等学校の英語志願者でも、英語ではなく日本語で記入してください。

試験会場

京都市立西京高等学校

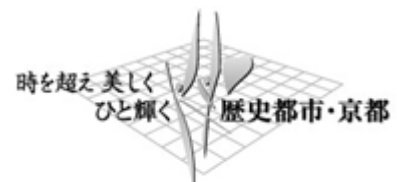
京都市立西京高等学校附属中学校

(京都市中京区西ノ京東中合町1)



地下鉄東西線「西大路御池」駅から徒歩すぐ
 京都市バス「西大路御池」下車すぐ

【お問合せ先】 京都市教育委員会事務局教職員人事課
 〒604-8571
 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地
 電話 075-222-3781 FAX 075-222-3759



< 参 考 >

1 過去5年間の採用選考試験実施結果

	受験者数					採用者数				
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
小学校	748	821	890	944	860	220	233	212	213	185
中学校	666	503	784	915	917	57	53	76	90	74
高等学校	176	152	184	204	166	12	12	11	9	11
養護教員	77	85	58	73	64	8	8	5	8	7
計	1667	1561	1916	2136	2007	297	306	304	320	277

「小学校」には幼稚園での採用者を含みます。

2 よくある質問について(Q&A)

【Q1】併願を考えているのですが、どの校種が併願できるのか教えてください。

【A1】下記の表の通り、希望校種によって1つまたは2つまで併願が可能です。

〔全併願パターン〕

		併 願 可 能 校 種				
		幼稚園	小学校	中学校	高等学校	総合支援学校
第 一 希 望 校 種	小学校			×	×	×
	小学校	×			×	×
	小学校	×		×	×	
	小学校	×			×	
	中学校	×			×	×
	中学校	×	×			×
	中学校	×	×		×	
	中学校	×			×	
	高等学校	×	×			×
	総合支援	×		×	×	
	総合支援	×	×		×	
	総合支援	×			×	

(注1) 上記の併願例以外の併願はできません。

(注2) 幼稚園を希望する場合は、上記「小学校」のパターンでのみ受験可能です。

(注3) 上記のうち、中学校及び高等学校については同一教科のみ併願が可能です。

〔例：中学校数学と高等学校理科，高等学校国語と中学校英語などの併願はできません。〕

(注4) 併願を希望する場合は、上記のいずれに該当するのかを事前に必ず確認してください。

【Q2】総合支援学校について、所持免許が小学校や中学校のみでも受験できますか。

【A2】総合支援学校を希望する場合は「特別支援学校の普通免許状」が必要です。

併せて、小学校または中学校の普通免許状が必要です。(いずれの免許も平成22年4月1日までに取得見込みであれば受験可能です) 2頁の受験資格を参照してください。

【Q3】総合支援学校以外で受験した場合でも、合格後、総合支援学校へ配置されることはありますか。

【A3】例えば、小学校で受験した場合でも合格後、総合支援学校へ配置される可能性があります。
なお、総合支援学校で合格した場合は総合支援学校（小学部・中学部・高等部のいずれか）へ配置されます。

【Q4】社会人経験者チャレンジ制度について、出願時に在職していなくても対象となりますか。

【A4】出願時には在職していなくても、過去に3年以上同一の民間企業または官公庁等での勤務歴があれば対象となります。

【Q5】「子どもたちに伝えたい私の感動体験」は形式自由ですか。

【A5】形式は自由です。例えば、絵を描いていただいてもかまいません。体裁を合わせてパソコンで作成することも可能です。ただし、裏表1枚で収まるように記述してください。
なお、写真や工作物を貼り付けることはできません。写真を貼った物をコピーして提出することは差し支えありません。

【Q6】4頁に記載の特例について、2つ以上併用することはできますか。

【A6】特例を併用することはできません。該当する1つのみ適用できます。

【Q7】現職教員や常勤講師3年の特例について、私立学校勤務の場合でも対象となるのでしょうか。

【A7】国公立学校が対象となりますので、私立学校勤務の場合でも対象となります。

【Q8】現職教員の特例について、経歴はあるが現在は退職している場合でも対象となりますか。

【A8】現職教員の特例については、出願時（平成22年3月31日まで）に在職している方が対象です。
なお、常勤講師3年以上の特例については、過去に通算で3年以上の経歴（現職教員の経歴を含む）があれば、出願時に在職していなくても対象となります。

【Q9】現職教員3年の特例について、総合支援学校を受験する場合は現在、総合支援学校（学校教育法上の特別支援学校に該当する学校）に勤務している必要がありますか。

【A9】総合支援学校を希望する場合は、出願時（平成22年3月31日まで）に総合支援学校（学校教育法上の特別支援学校に該当する学校）で勤務していることが必要です。

【Q10】過去の問題を見たいのですが、公開していますか。

【A10】京都市情報公開コーナー（京都市役所西庁舎1階）において過去3年分の筆記試験問題を閲覧できます。なお、筆記試験の解答・配点については昨年度（平成21年度試験）から公開しています。

その他、不明な点があれば教職員人事課（12頁参照）へお問合せください。

提出書類等チェック欄

出願前に、次の事項について必ず確認し、 にチェックをして提出書類に不備のないようにしてください。万が一、8頁(1)に記載の提出書類に多くの不備があった場合には、受験できない場合がありますので、漏れなく記入のうえ、該当する書類を忘れずに提出して下さい。また、第1次試験免除の場合でも、必ず受付期間内に出願手続を行ってください。

1. 受験資格

出願する校種及び教科又は職に相当する普通免許状を有する、又は平成22年4月1日までに取得見込みである。(特に通信教育で取得見込みの方については、必ず単位の確認をして下さい。)

出願区分に応じた生年月日に該当している。

2. 志願書(記入もれはありませんか。もう一度志願書全てに目を通してください。)

出願する選考区分にチェックをした。

出願する校種・教科・併願について実施要項で確認して記入した。(中高の異なる教科の併願は出来ません) 写真の裏に氏名・出願区分を記入し、志願書にきちんと貼付した。

生年月日を記入し、平成22年4月1日現在の満年齢を記入した。

現住所を記入し、連絡先の携帯電話番号・自宅電話番号を記入した。

第1次試験一部免除等を希望する場合、実施要項で確認のうえ、該当箇所にチェックをした。

学歴・所有する資格等についてきちんと記入した。

所有する、又は取得見込みの免許状についてきちんと記入した。

志願書Aにある署名欄に、記入日と氏名を自筆で署名した。

小学校・中学校保健体育・総合支援学校受験者は、水泳の項目についてどちらかを囲んだ。

現職教員の特例を希望する人は、平成21年4月1日現在、在籍する学校の所在する都道府県(政令指定都市の場合は政令指定都市)・校種・担当する教科を記入した。

3. 子どもたちに伝えたい私の感動体験(中学校・高等学校の英語志願者も日本語で記入して下さい)

氏名を記入し、キリトリ線に沿って、志願書と切り離れた。

4. 官製はがき

裏面が白紙のものを用意し、郵便番号、住所、氏名を記入した。

5. 返信用封筒

角形2号(24cm×33.2cm)の封筒を用意し、表面に120円切手を貼付して郵便番号、住所、氏名を記入した。

6. その他

必要書類を提出する際、封筒の表にきちんと「志願書在中」「校種」「教科」「併願」「特別選考」等朱書きで記入した。

(8頁掲載の提出方法を参照のこと。)

提出する時の封筒に、切手を過不足なく貼付した。

(封筒は角形2号(24cm×33.2cm)を使用すること)

第1次試験一部免除等の特例や特別選考で出願する場合は、それぞれに対応する必要書類を同封した。

(8頁掲載の提出書類を参照のこと。)

実施要項の全てに目を通した。

平成 22 年度京都市立学校教員採用選考試験 試験区分一覧表

< 一般選考 >

校種	第 1 次試験				第 2 次試験					年齢制限 H22.4.1 現在
	個人面接	一般教職教養	専門筆記	実技試験	論文	適性検査	集団面接	模擬授業	実技試験	
小									(体育)	48 歳未満
小・幼併願			(小・幼)						(体育)	48 歳未満
中				(英・体)					(英・音・美)	45 歳未満
高				(英)					(英)	45 歳未満
総合支援										45 歳未満
養教										35 歳未満

< 特別選考 >

区分	個人面接	一般教職教養	専門筆記	実技試験	論文	適性検査	集団面接	模擬授業	実技試験	年齢制限 H22.4.1 現在
国際貢献活動経験者		論文試験実施		(中：英・体，高：英)					(小：体，中：英・音・美，高：英)	一般と同様

< 第 1 次試験一部免除等 >

区分	個人面接	一般教職教養	専門筆記	実技試験	論文	適性検査	面接		模擬授業	実技試験	年齢制限 H22.4.1 現在
							個人	集団			
大学・大学院推薦 1										(体育)	一般と同様
英語資格所有者(小)		Listening								(体育)	一般と同様
英語資格所有者(中・高)				(英)						(英)	一般と同様
現職教員 1 年以上				(中：英・体，高：英)						(小：体，中：英・音・美，高：英)	50 歳未満
現職教員 3 年以上 1										(小：体，中：英・音・美，高：英)	50 歳未満
常勤講師 3 年以上				(中：英・体，高：英)						(小：体，中：英・音・美，高：英)	一般と同様 (10 年以上は 50 歳未満)
21 年度 1 次合格者										(小：体，中：英・音・美，高：英)	一般と同様
社会人経験者 チャレンジ制度		論文試験実施		(中：英・体，高：英)						(小：体，中：英・音・美，高：英)	一般と同様
博士号取得者 1											一般と同様

1 「大学・大学院推薦」，「現職教員 3 年以上」及び「博士号取得者」の個人面接については，第 1 次試験の日程のいずれかの日に実施する。

この冊子は再生紙を使用しています